

件名	子どもたちの健やかな発達と親が安心して子どもを生み育てられる保育・子育て支援の拡充に関する請願			
提出者	墨田区向島一丁目二十九番十一〇二号 墨田労連気付			
住所氏名	公的保育福祉を守る墨田実行委員会 代表 今野 恵 市 外二八、七四九人			
受理年月日	平成十六年六月七日	受理番号	第一号	紹介議員 金澤 修・高柳 東彦・西 恭三郎

要 旨

- 一 公立保育園の民営化は行わず、待機児童は認可保育園の増設で対応してください。
- 二 保育料の値上げは行わず、二人以上の子どもを入園させている世帯の保育料をさらに軽減してください。
- 三 延長保育及び産休明け保育を実施する認可保育園を増やすなど、保育施策の充実を行うとともに、子育て支援センターの早期建設や子育て広場事業の実施など、子育て家庭支援の施策を充実してください。

(理 由)

就学前の子どもたちが健やかに発達し、保護者の就労を保障する場所として、国や自治体の責任で運営される認可保育園はなくてはならない大切な存在です。

墨田区は、他の自治体と比べても少子・高齢化が深刻です。少子化を克服し、子育て世帯の定住化を促進するカギは、保育施策・子育て家庭支援施策の拡充にあります。

しかし、二〇〇三年四月時点で保育園に入れない待機児童の数は、二百二十人に及んでおり、一日も早い待機児童解消の対策が求められています。延長保育を行っている保育園や産休明け保育を行っている保育園も圧倒的に足りません。保育園の数をとつても、必要な施策の実施状況をもても、墨田区では保育の拡充が必要です。そのような状況にあつて、認可保育園よりも保育料は高く、人員配置や面積などの基準は低い、営利を目的にもできる「認証保育所」の設置を促進し、区立あおやぎ保育園の民間委託を打ち出すなど、区民の保育要求に矛盾する施策が進められています。

長引く不況で個人所得は目減りする一方です。保育料負担の軽減も必要です。また、保育園に入園していない子どもや親をサポートする仕組みを充実させることも重要です。

私たちは、墨田区を「ここで子どもを生んで良かった」、「ここで育つて良かった」と、親や子どもが思える地域にしたいという思いです。

以上の趣旨をご理解の上、右事項の実現をお願いいたします。

以 上